

製品名: MAP2K6 (8A11) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03703**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 37 kDa; Observed MW: 40 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP2K6 MAP2K6; MEK6; MKK6; PRKMK6; SKK3; Dual specificity mitogen-activated protein kinase
別名	kinase 6; MAP kinase kinase 6; MAPKK 6; MAPK/ERK kinase 6; MEK 6; Stress-activated protein kinase kinase 3; SAPK kinase 3; SAPKK-3; SAPKK3
遺伝子 ID	5608
SwissProt ID	P52564
免疫原	-

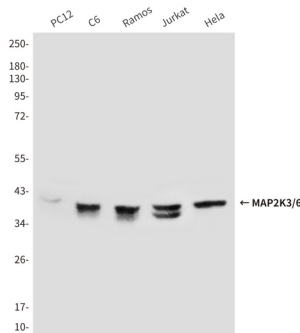
背景

この遺伝子は、二重特異性タンパク質キナーゼファミリーのメンバーをコードし、マイトジェン活性化タンパク質 (MAP) キナーゼキナーゼとして機能します。MAP キナーゼは細胞外シグナル調節キナーゼ (ERK) としても知られ、複数の生化学的シグナルの統合点として機能します。このタンパク質は、炎症性サイトカインまたは環境ストレスに反応して p38 MAP キナーゼをリン酸化して活性化します。p38 MAP キナーゼを介したシグナル伝達経路の必須構成要素として、この遺伝子はストレス誘発性の細胞周期停止、転写活性化、アポトーシスなど、多くの細胞プロセスに関与しています。組織特異性: アイソフォーム 2 は骨格筋でのみ発現します。一方、アイソフォーム 1 は骨格筋、心臓、そして少量ですが肝臓や膵臓にも存在します。

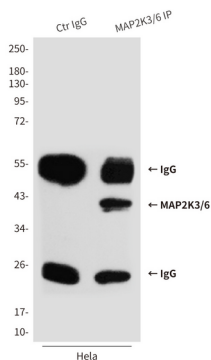
研究分野

シグナル伝達

画像データ



MKK3/6 抗体を使用した PC-12、C6、Ramos、Jurkat、および HeLa 溶解物中の MAP2K6 (8A11) のウェスタンブロット分析。



MKK3/6 抗体を使用した HeLa 溶解物中の MAP2K6 (8A11) の免疫沈降分析。